

新しい仲間が加わりました！！

4月より救命救急に入職した、
救命救急看護認定看護師の中村美穂です。
BLSリンクナース会に所属し、RRSを担当しています。
私の実践テーマは、“クリティカル領域における患者・家族の危機介入や
(代理)意思決定支援、悲嘆ケア”です。また、教授システムに興味があり、学習者
が自ら学び成長する効果的・効率的で、魅力的かつシステム的な教育(人材育成)
を追及しています。さらに、急性病態や重症患者管理も得意です。
病棟で気になる患者さんがおられたらご相談下さい。



～特定行為研修を修了しました～

東京の研修と当院での実習を得て、2020年3月に救命分野の特定行為を修了しました。これまで、静脈採血が困難で何度も穿刺したあげく、医師へ動脈穿刺採血を依頼した事例を何度も経験しました。患者さんに申し訳なくて「動脈穿刺ができるようになりたい」という思いがきっかけでした。今後は、直接動脈穿刺、Aライン留置、挿管チューブの位置調整、人工呼吸器(NPPV含む)の設定変更など14行為が行えるようになり、早期治療介入や回復に貢献したいと思います。よく聞かれますが、残念ながら気管挿管はできません(^^;)

救命看護認定看護師 小林 望

2019年度に鹿児島大学の特定行為研修センターへ在学し、特定行為研修を修了しました。特定行為は、感染兆候のある患者さんへ抗菌薬を投与する等の相対的医行為を手順書により実践するものです。これにより、保存的外科的デブリートメント、抗菌薬投与などを必要とする患者さんに対して効率的に安全な医療を提供でき、医師の負担軽減にも繋がります。研修により一歩成長できたことに喜びを感じると共に、健康問題を抱えておられる患者さんへ、必要な特定行為や専門分野の知識・技術で役に立ちたいと思います。

感染症看護専門看護師 中島順一郎

専門・認定看護師倶楽部では、今年度も地域連携勉強会開催に向けて、現在計画中です。
詳細が決まりましたら、HPでお知らせします